

事務事業名		隣保館啓発・広報活動事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	隣保館
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	隣保館		担当課長名	山口晃一
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 人権意識の高揚					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2041	一般	2	1	13	隣保館啓発・広報活動事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S61年度～		根拠法令 条例等	社会福祉法及び施行規則 佐野市隣保館条例及び施行規則		実施方法		直営	
	事業区分		事業分類		広報・広聴・啓発事業		リーディングプロジェクト		該当なし		
	市長マニフェスト		該当なし		該当なし		該当なし		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
市民に対して、人権尊重の正しい認識と理解を深めるため、人権啓発及び広報活動を実施する。			①人権講演会の開催(1回) 7月18日開催 65名 ②街頭啓発(2回) 7月10日・11月4日 市内3ヶ所 ③動く啓発運動(人権啓発用ポロシャツによる) 143名 着用期間 7月1日～8月31日 ④啓発ビデオ・DVDの貸出 141点 ⑤隣保館だよりの発行(2回) 7月・11月 各5,000部							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			人権講演会開催数	回	1	1	1	1	1	1
			街頭啓発回数	回	2	2	2	2	2	2
			隣保館だよりの発行回数	回	2	2	2	2	2	2
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			人口	人	123,182	122,582	121,522			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
・人権に対し正しい認識と理解を深めてもらう ・人権問題について知ってもらう ・人権活動について情報を得てもらう			人権講演会の参加者数	人	68	65	80	80	80	
			啓発物品の配布数量(1回)	部	450	450	450	450	450	
			隣保館だよりの総発行部数	部	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
市民が人権を意識しながら生活する。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			人権講演会参加者で、「日頃、人権を意識しながら生活している」と回答した参加者の割合	%	90.4	93.6	92.0	93.0	93.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円	753	626	867	867	867			
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円	753	626	867	867	867			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			旅費	74	旅費	71	旅費	144	旅費	144
			需要費	415	需要費	277	需要費	358	需要費	358
委託料			130	委託料	121	委託料	180	委託料	180	
備品購入費			104	備品購入費	118	備品購入費	130	備品購入費	130	
負担金・補助金及び交付金			30	負担金・補助金及び交付金	39	負担金・補助金及び交付金	55	負担金・補助金及び交付金	55	
人件費			千円	1,517	1,537	1,537	1,537	1,537		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,270	2,163	2,404	2,404	2,404				

事務事業名	隣保館啓発・広報活動事業	担当部	市民生活部	担当課	隣保館	担当係	隣保館
-------	--------------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	国の地域改善対策特別措置法に基づく国庫補助により隣保館を建設。昭和61年開館以来、社会福祉法に基づく隣保事業を行っている。啓発・広報活動は、隣保事業の主要な事業の一つである。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国における同和対策事業は、昭和44年同和対策特別措置法に始まり平成14年まで特別対策事業が実施され、その後、一般対策事業として実施されている。隣保館で行う隣保事業は、社会福祉法に基づく隣保事業として開館以来実施している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	講演会等に参加した方から、生活の中での人権尊重の意識づけに参考になったとの意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	人権に対し正しい認識と理解を深めてもらう事業であり、人権尊重のまちづくりにおいて、欠くことのできない事業である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	同和問題をはじめ、様々な人権問題の速やかな解決は国及び行政の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民を対象にあらゆる機会を通じ啓発を行い、人権に対し正しい認識と理解を深めてもらう事業である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	人権講演会や人権関係の研修会等のPRに努め、できるだけ多くの人に参加してもらう。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名 田沼福祉コミュニティセンター啓発・広報活動事業 各館の地域性、独自性を尊重し地域交流事業を推進している。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	街頭啓発には市職員を動員して行っており、削減の余地はない。 配布物の選定、数量等の検討し効果的な啓発・広報を行っている。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	行政の責務として、市民を誘導していくものであり、負担を求めない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 同和問題をはじめとする人権問題の解決が図られたと市民に理解されるまで事業を継続する。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			